

すまいる

～VOL.19 夏号～

夏休みのお知らせ

8/8(火)～8/17(木)

は休診日です。

8/18(金)からは平常通りの診察です

院長通信



「あかちゃんにハチミツを与えてはいけないをご存知ですか？」

今年の3月、東京の生後6ヶ月のあかちゃんが乳児ボツリヌス症で亡くなりました。

原因是、ハチミツ中のボツリヌス菌毒素による神経障害でした。昔からハチミツにはボツリヌス菌が混入していることはわかっていましたが、国内での死亡例は初めてです。

1歳未満のあかちゃんは、まだ腸内細菌が完成していないので、ボツリヌス菌が体内で増殖し、菌が神経毒を產生し、けいれんや呼吸不全をきたすことがわかっています。

ところで、30年ほど前に、九州・熊本で成人10人が亡くなり30人以上がボツリヌス中毒をおこしたのは、からしレンコンが原因でした。真空パックからし粉の中でボツリヌス菌が繁殖して毒素を产生したものと考えられています。この場合は、すでに食材の中で菌の増殖と毒素の产生が完了しているので、大人でも中毒を起こしてしまいました。

ハチミツの場合は、腸内で菌が繁殖してから毒素を产生すると考えられるため、腸内細菌の発達した1歳以上の場合は、安全に食べることができます。

1歳未満のあかちゃんでは、ハチミツを加熱しても本症を防ぐことはできません。1歳を過ぎるまでは、ハチミツやハチミツ入りの飲料・お菓子などは与えないでください！！

胃腸のおはなし

前回は便秘の状態についてお話ししました。

便秘の方で、「便秘と下痢を繰り返す」「排便前に腹痛やおなかの張りがある」「通勤・通学やテスト・重要会議などで腹痛が起こる」などのタイプの方はいませんか？

これらの症状は、“便秘型”過敏性腸症候群の可能性があります。

通常の”下痢型”過敏性腸症候群は、10代の男性に圧倒的に多く、年齢とともに減少、改善していく傾向が顕著でした。しかし”便秘型”は女性が多く、やや年齢層も高いことが知られています。いずれも、排便後に症状が軽減することが特徴です。

これまで、”下痢型”については、いくつかの専門的な薬が開発されており、治療による症状改善効果も安定していましたが、”便秘型”には有効な薬がなく、通常の下剤などを使用するしかありませんでした。ただ、刺激性下剤ではお腹が痛くなるし、塩類下剤では効果が不充分で、満足のいく治療効果が得られませんでした。

今年3月に、「リンゼス」一般名；リナクロチドという薬が発売されました。クロラライドチャネルを介して、腸管の水分分泌を促すことで、便秘を解消するというものです。長期的に使用しても副作用が少なく、むしろ腸管の過敏性を改善し腹痛を起こしにくくする作用もあります。実際に処方した患者さんの評判もかなり良好です。腹痛や腹満など、便秘に不快な症状を伴う方は、一度ご相談ください。

あなたの健康のために

「最近の超高額薬剤が、国を破綻させる！？」

21世紀になり、科学技術の進歩から、画期的新薬が開発されています。なすすべなく命を落としていた患者さんが、飲み薬だけで恩恵に預かることとなり大変喜ばしい時代です。ところが、開発に莫大な費用がかかり、製薬会社が利益を得るために超額な薬価になるため、健康保険適応が社会問題となっていました。

最初に問題になったのが、慢性白血病治療薬「グリベック」でした。毎日服用することで、本当に元気に生存できる抗癌剤ですが、当時1人年間約400万円もの費用がかかり、しかもずっと飲み続けなければならないことから、健康保険適応時に大問題となりました。

これ以降、分子標的薬・抗体医薬・抗ウイルス剤などの超額医薬品が次々と開発されました。中でも、分子標的薬「オプジーボ」はとても効果があり、今まででは考えられなかつたほど肺がんの長期生存が可能となっています。今年、薬価が引き下がりましたが、1人年間1200万円以上かかります(昨年までは3400万円/1年)。日本全体ではこの1剤だけで年間1兆円をこえる薬剤費が必要です。

またC型肝炎の「ハーボニー」「ゾバルディー」も1人600~700万円かかりますが、高額療養費制度を利用すれば、自己負担が月10万円以下になります(昨年2000億円の費用がかかりました)。その差額は、皆さんのが払う保険料や税金から補填されています。

以上の事により、医療費の増大から国民皆保険を壊してしまう懸念されています。現在、日本医師会としては、可及的速やかに画期的新薬の健康保険適応をする事を国に要望しています。なぜなら、所得による医療格差や命の格差を作らないためです。おおむね厚生労働省もこれに賛同的ですが、財務省や政府の経済財政諮問会議は違います。高齢者での適応制限を加えたり、高額医薬品は自己負担でまかなうよう、混合診療導入を目指んでいるのです。医学の進歩ゆえに、お金と命を天秤にかけなければならない時代…。

本当に悩ましく難しい問題といえそうです。

スタッフ通信

もうすぐ暑い季節がやってきます。

暑さが苦手な私にはつらい季節ですがお祭りや、花火・スイカなど、楽しみもいっぱいですネ☺

新しい日傘で少しでも気分を上げて夏を乗り切りたいと思ひます。

皆さんも熱中症と日焼けに気を付けて夏を楽しみましょう。

事務 和田 美沙紀

内科・小児科・胃腸内科・肛門外科 (医)喜多岡医院

<http://www.kitaokaclinic.jp>

受付時間	月	火	水	木	金	土	日祝
AM9:00~12:30	●	●	/	●	●	●	/
PM4:00~ 6:30	●	●	/	●	●	/	/

- 日本消化器病学会認定 消化器専門医
- 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医
- 日本大腸肛門病学会認定 大腸肛門病専門医



〒543-0052 大阪市天王寺区大道3丁目1-23 EMAビル2F TEL.06-6771-8025

